

1. 件名：安全実績指標に関する日本原子力研究開発機構との面談
2. 日時：令和2年9月9日（水） 13：30～14：30
3. 場所：原子力規制庁 2階中コア会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者：  
原子力規制庁 原子力規制部  
核燃料施設等監視部門  
熊谷統括監視指導官、栗崎企画調査官、福吉主任監視指導官、関主任監視指導官  
検査監督総括課 笠川検査評価室長補佐  
日本原子力研究開発機構 安全・核セキュリティ統括部 部長 他3名
5. 要旨
  - (1) 日本原子力研究開発機構（以下、JAEAという。）から、前回面談時に原子力規制庁から出したコメント「放射性廃棄物（気体・液体）の具体的な放出濃度は、既に放射線管理報告書で別途報告を受けていることから、安全実績指標（放射線安全）においては、保安規定に規定されている放出管理目標値を超えた場合（当該目標値の規定が無い場合は法令濃度限度を超えた場合）を過剰放出として位置付け、その件数を報告することで十分である」を踏まえて、配布資料（1）を用いて、原子力規制検査等に関する規則に基づく安全実績指標（放射線安全）における具体的な報告内容の検討案の説明を受けた。
  - (2) 原子力規制庁から、上記資料に対し以下のコメントを伝え、JAEAから資料に反映するとの回答があった。
    - ・全 $\alpha$ 放射能測定等により核種を限定しない管理を行っている場合は、代表性を有する核種の名称について、別表1に明記すること。
  - (3) 原子力規制庁から、ATENAで実施されているように、他の核燃料施設等の設置者に共有する目的で、JAEAのHPで配布資料（1）を公開することを検討して欲しい旨伝え、JAEAより検討する旨、回答を受けた。
  - (4) 原子力規制庁から、規則改正内容の理解のために定期的に核燃料施設等の設置者と開催している面談において、配布資料（1）を紹介して欲しい旨伝え、JAEAより検討する旨の回答を受けた。
6. 配布資料
  - (1) 原子力規制検査において活用する安全実績指標（PI）について（JAEA作成）